

日本史特殊講義7B－Ⅰ

科目ナンバリング JPH-213
選択必修 2単位

小山 俊樹

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は、近現代における日本政治史を扱う。具体的には、第一次世界大戦後から満州事変にいたる諸動向を、日本政治の特質、および対外関係、経済情勢、社会変動などの視点から講義し、現代に通じる課題を提起していく。

2. 授業の到達目標

受講生各位が近現代日本の歴史に関心をもち、大正～昭和初期の政治・外交・経済・社会のうごきを説明できるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

試験の成績を重視して、総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

木村茂光ほか 『大学でまなぶ日本の歴史』 吉川弘文館

参考文献

伊藤之雄 『日本の歴史22 政党政治と天皇』 講談社

有馬学 『日本の近代4 「国際化」の中の帝国日本』 中央公論新社

升味準之輔 『日本政治史3 政党の凋落、総力戦体制』 東京大学出版会

5. 準備学修の内容

講義で示される内容と関連する事項について、教科書・参考書などを読解して理解を深めること。

6. その他履修上の注意事項

本講義は、微細な年代や事象名の暗記を目的としない。講義内容をもとに思考を重ね、自己の感想を持つようにしてほしい。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス・講義内容について
- 【第2回】 世界大戦後の国際環境
- 【第3回】 政党政治の中断
- 【第4回】 関東大震災
- 【第5回】 第二次護憲運動
- 【第6回】 普通選挙法の成立と政党政治の定着
- 【第7回】 大戦後の不況・金融恐慌
- 【第8回】 田中義一内閣の内政と外交
- 【第9回】 「憲政の常道」と二大政党政治
- 【第10回】 政権交代と世界大恐慌
- 【第11回】 ロンドン海軍軍縮条約
- 【第12回】 「国家改造運動」の胎動
- 【第13回】 中国ナショナリズムと満洲問題
- 【第14回】 満洲事変前夜
- 【第15回】 まとめ・最終試験